



News Release

はとバス広報室



報道関係各位

2019年7月11日

2018年度(会計年度・2018年7月1日～2019年6月30日)

はとバス 東京観光 ご利用者数 **848,677名**

株式会社はとバス(東京都大田区/代表取締役社長 中村靖)の、2018年度(はとバス会計年度:2018年7月1日～2019年6月30日)の東京観光ご利用者数(外客コース含む)は848,677名(速報値)でした。

◆◆◇ご利用者数 内訳◇◆◆

	2018年度人数(名)	2017年度人数(名)	前年比(%)
東京観光コース	777,757	831,304	93.6
英語・中国語外客コース	70,920	77,413	91.6
合計	848,677	908,717	93.4

【東京観光コース 動向】

2018年度(2018年7月1日～2019年6月30日)全体の東京観光コースご利用者数は777,757名で、前年を下回る結果となりました。

2018年度前半は、西日本豪雨や台風、北海道地震などの自然災害が多数発生し、行楽シーズン最中の観光業界に大きな影響を及ぼしました。9月に発生した台風21・24号では、当社東京観光コースにおいても運休が相次ぎ、当月のお客さまご利用者数は、60,683名(前年比89.4%)でした。

後半は、ゴールデンウィーク10連休があったことから、4月・5月についてのお客さまご利用者数が前年を上回りました。ゴールデンウィーク中(2019年4月27日～5月6日)のご利用者数は、68,164名(前年比155.5%)でした。

【外客コース 動向】

2018年度(2018年7月1日～2019年6月30日)は訪日外客数が3,000万名以上を達成する見込みの一方、当社の外客コースご利用者数は70,920名(前年比91.6%)でした。

当社の外客コースご利用人数は、訪日外国人客の増加に伴い、2014・2015年度と盛り上がりを見せていましたが、以降減少傾向にあります。要因として、訪日リピーターの増加、あわせてSNSの広まりにより、観光客ニーズが多様化していることから、都内の主要観光スポットを巡るバスツアーの需要が減少していることが考えられます。一方で、都心からのアクセスが不便な日光や富士山方面に行く当社コースのニーズが高まっており、2018年度のご利用者数は25,643名(前年比124.1%)でした。

当社では、訪日外国人のお客さまが東京観光コースにもご参加いただけるよう、一部のコースで、8ヶ国語自動ガイドシステム「TOMODACHI」を導入しています(バスガイドは日本語で案内)。「TOMODACHI」は、GPS を活用し、ツアー中に走行する観光スポットを8ヶ国語の音声で案内するシステムでしたが、本年5月よりスマートフォン仕様に変更し、音声案内に加え、走行する観光地の文字情報と地図情報を画面上で確認できる機能を搭載しました。2019年度は、当システムの周知を拡大していくとともに、日本人と訪日外国人のお客さまがともにバスツアーをお楽しみいただける環境づくりを進めてまいります。

本件に関する報道関係の方からのお問合せは 下記までお願いいたします。

株式会社はとバス 広報室 (大田区平和島 5-4-1) TEL. (03)3761-8128

石川・本田・杉田

※本リリースは国土交通省記者会、東京都庁記者クラブに同時配布しております。